

2023年度 大阪公立大学

# 小論文問題

(工学部 建築学科)

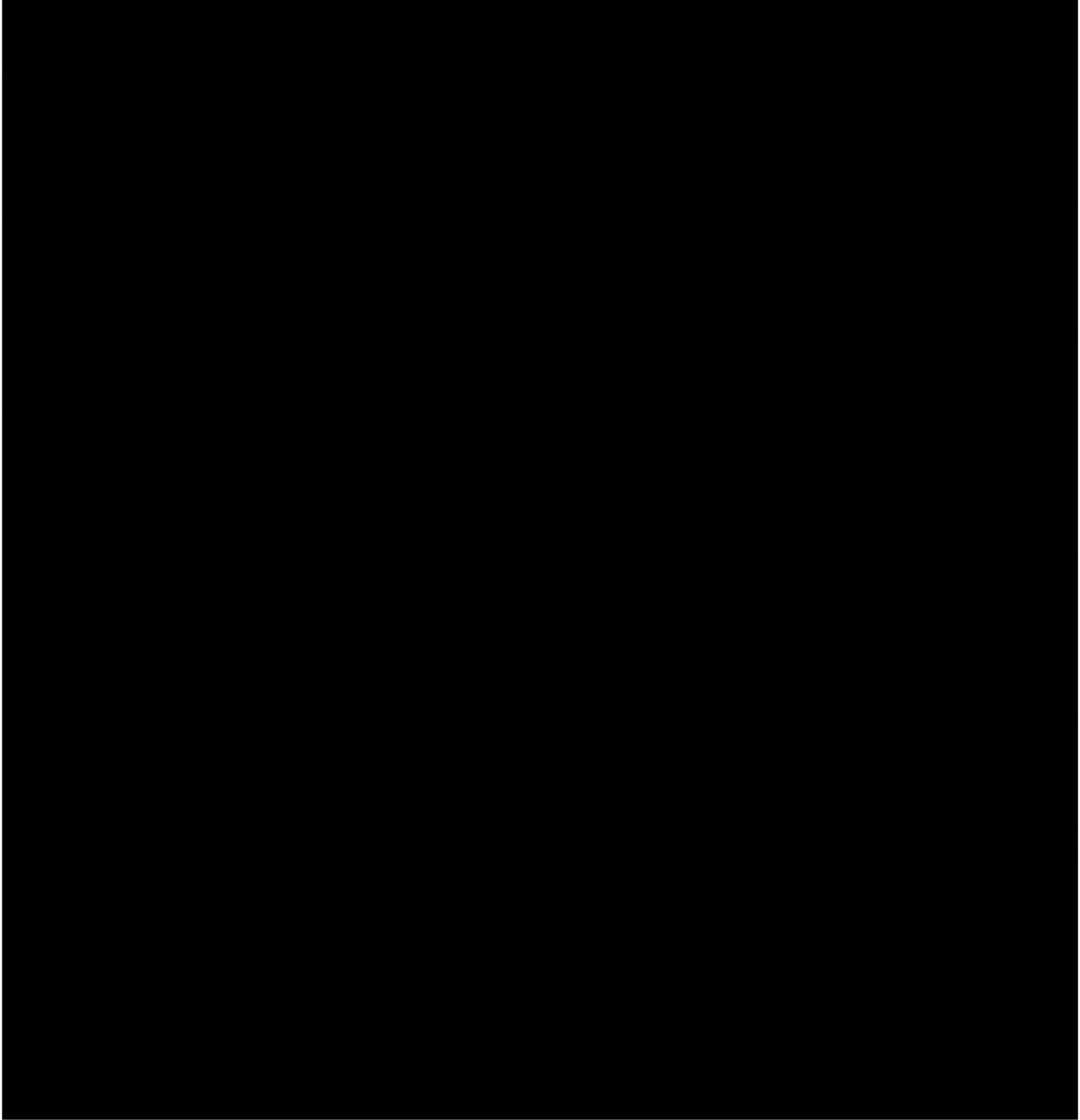
解答時間 180分

## 注意事項

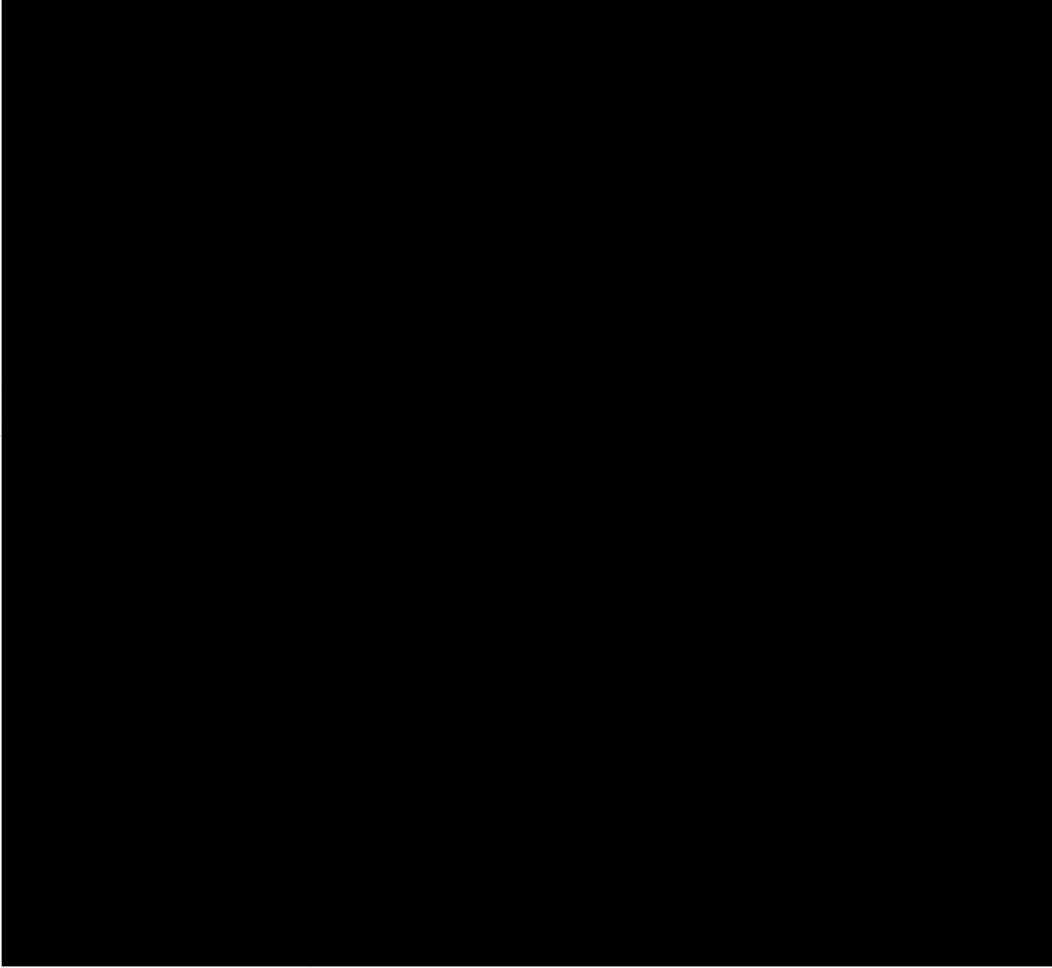
1. 問題冊子は、監督者が「解答始め」の指示をするまで開かないこと。
2. 問題冊子は全部で5ページである。脱落のあった場合には申し出ること。
3. 解答用紙(2枚)は別に配付する。脱落のある場合には申し出ること。
4. 解答開始後ただちに、すべての解答用紙の所定欄に、受験番号を丁寧に記入すること。
5. 解答は、すべて解答用紙の所定欄に記入すること。
6. 解答に字数の制限があるときは、句読点や記号も含めて数えること。
7. 解答以外のことを書いたときは、該当箇所の解答を無効とするときがある。
8. 問題冊子の余白は下書きに使用してもよい。
9. 解答終了後、配付された解答用紙はすべて提出すること。問題冊子及び下書き用紙は持ち帰ること。

第1問 (25点)

以下の新聞記事を読み、かつ次ページの「51Cの間取り図」を理解したうえで、問1および問2に答えなさい。



(出典：朝日新聞 2011年10月19日夕刊)



5 1 Cの間取り図 = 「五一C白書」(住まいの図書館出版局)から

**問1**

(1) 鈴木は、一連の製鉄会社の社宅における住み方の実態調査から、アンダーライン(1)に記されている生活者の要望を明らかにしました。このような要望に対して、5 1 Cの間取りにおいてなされている工夫を説明しなさい。

(2) アンダーライン(2)の要望に対して、5 1 Cの間取りにおいてなされている工夫を説明しなさい。

(3) アンダーライン(3)に記されている内容を具体的に説明しなさい。

**問2**

現在の日本の住まいが有する問題や課題およびそれらへの対応について、建築の専門家をめざす学生の立場から論じなさい。

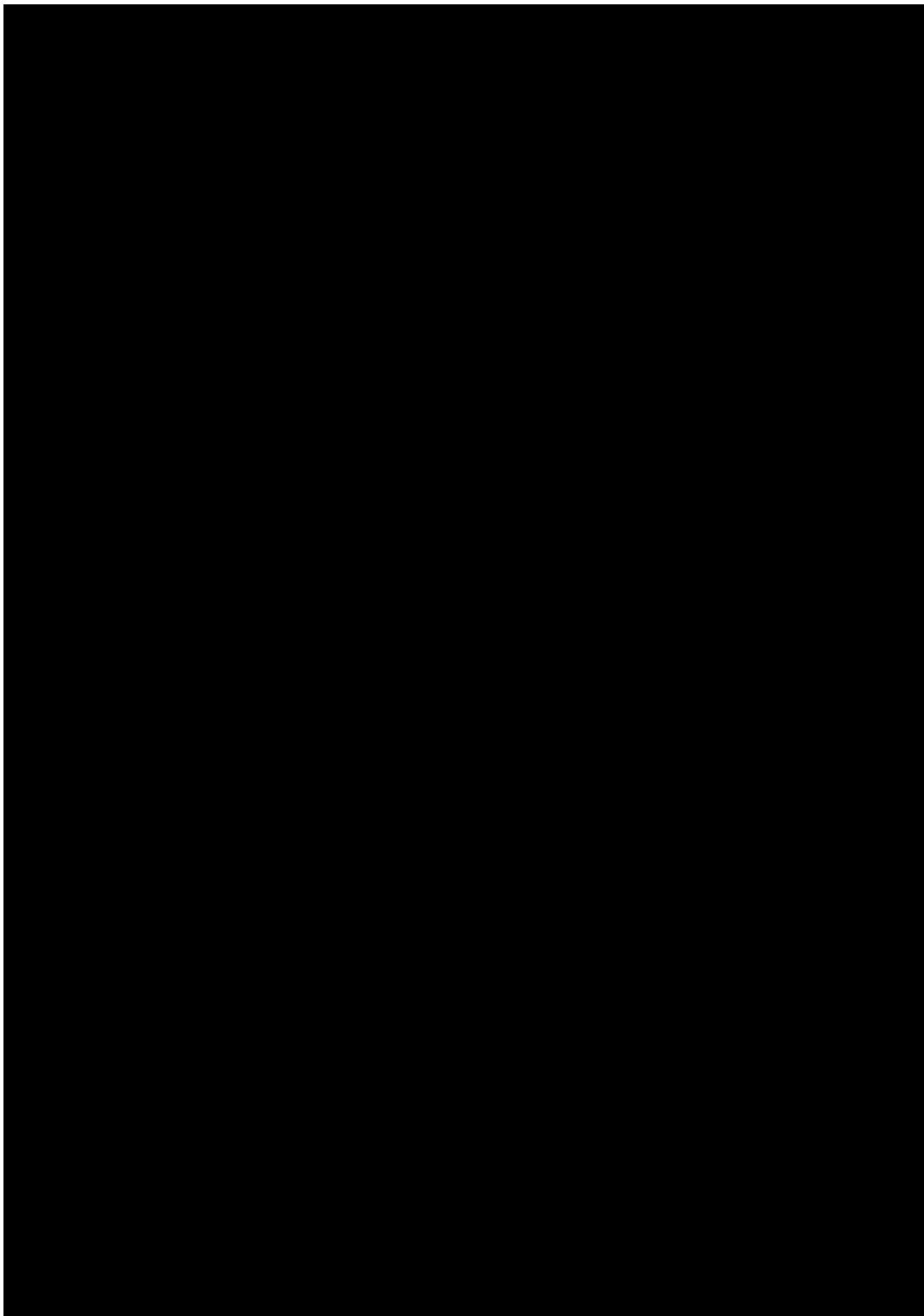
## 第2問 (25点)

わが国において建築物を建設する場合、建築基準法に示されている荷重・外力に対して、その建築物が安全であることを確認する必要があります。ただし、法律に示されている荷重・外力は国の要求性能にすぎず、その水準を超える荷重・外力が作用する可能性を否定しているわけではありません。建築基準法を遵守する必要がありますが、「法律を守っていれば十分」であるとは限りません。建築主（事業主）には、耐震性能に限らず、建築物に対するあらゆる要求性能およびその水準を決定する責任があります。

建築物への要求性能およびその水準を決定するためには、専門家が果たす役割も重要です。【新聞記事1】【新聞記事2】は、イタリア中部ラクイラで起こった地震に関する裁判について書かれたものですが、記事では、地震に対する安全性への住民、行政あるいは専門家等の考え方の相違が示されており、この種の問題の難しさが読み取れます。

これらの記事を参考にして、建築物の耐震性能に関する以下の問いに答えなさい。

- 問1 建築物に要求する耐震性能水準の決定において、(1)建築主（事業主）および(2)専門家が果たすべき役割と責任を記述しなさい。
- 問2 自宅を新築する場合、ご自身が自宅に求める耐震性能の水準を、理由とともにできるだけ具体的に記述しなさい。なお、コストのことも考慮してください。



【新聞記事 2】

